教文館　新刊案内　　9 月 22 日発売予定

日本基督教学会編

日本の神学 60（2021 年版）

――シンポジウムにかえて　邦訳聖書と教会――

A 5 判・並製・226 頁・定価 3,080 円（本体価格 2,800 円＋税）・ISSN 0285-4848

講演にかえて　日本の聖書翻訳		津村　俊夫
論文　発展する隣人愛		下園　知弥
	イエスとサマリアの女（ヨハ 4:1-42）	ヘラ、マリアヌス　パレ
	ルターにおける fides Christi の意味	竹原　創一
書評　小友聡『コヘレト書』	評者	田島　卓
	月本昭男『詩篇の思想と信仰』	評者　石川　立
	山口希生『「神の王国」を求めて』	評者　伊東　寿泰
	吉野政治『明治元訳聖書成立攷』	評者　吉田　新
	森島豊『抵抗権と人権の思想史』	評者　村松　晋
	芦名定道『現代神学の冒険』	評者　宮平　望
	朴憲郁『現代キリスト教教育学研究』	評者　駒木　亮
	森本あんり『不寛容論』	評者　藤本　龍児
	金承哲『遠藤周作と探偵小説』	評者　釘宮　明美
	高橋沙奈美『ソヴィエト・ロシアの聖なる景観』	評者　益田　朋幸
	ほか	
シンポジウムにかえて　「邦訳聖書と教会」		淺野淳博・小友聡・加藤博道